

令和8年度 目黒区立月光原小学校 学校グランドデザイン

Research : 各種調査等による実態

[学校の実態]
 ・12学級
 ・児童数342名
 ・教員 16名
 主幹(2)
 指導教諭(1)
 主任(5)
 教諭(7)
 主任養護教諭(1)
 ・平均年齢 42歳

[児童の実態]
 (1)区学力調査<前年度>
 学年間の差が大きい。
 観点別傾向よりも学年集団の特性が強い。
 (2)四者評価
 「学校は楽しい」の肯定的評価は低学年が92%高学年が83%で前年度より全体的に上昇、「学校の勉強は分かる」の肯定的評価は低学年が92%、高学年が90%で全体的に昨年度より上昇。

[保護者・地域の実態]
 ・四者評価結果(保護者)
 「学校の雰囲気」「教職員の対応」の肯定的評価は90%以上の肯定的評価を得ている。
 ・PTAや地域の特色
 PTAは、ボランティア制を取り入れて運営している。地域は、学校に対する愛着心が強く、大変協力的である。
 住区と町会の関係性も良好である。
 ・今年度より学校運営協議会が立ち上がった。

校長の経営方針

～月光原から輝き放つ子どもを育てる～

<子どもが自信をもって学校生活を送る>

- 分かる授業、見通しをもてる授業の展開
- 良い学習の雰囲気・学習規律を作りあげる
- 信頼関係の構築
- 秩序ある学校生活
- 子どもの命を守る
- 主体性を伸ばす学び

<子どものために職員が楽しく働ける学校 安心して働くことのできる学校>

- 教職員の人材育成
- 組織力の向上

目指す児童像

■学校の教育目標

- よく考えて行動する子
- ◎すすんで学習する子
- 健康で明るい子
- 心豊かですなおな子

■校内研究を通して目指す児童

- 自ら、問いを見付け、試行錯誤しながら、解決に向けて挑む児童
- 自らの良さや周りの人の良さに気付き、自己肯定感の高い児童

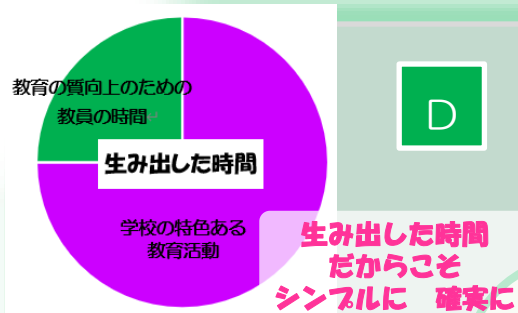
P 計画

D 実施

C 評価

A 改善

「40分授業午前5時間制」を生かした 創意工夫ある教育課程の開発



区立月光原小学校 週時程表 令和8年度

時間	月	火	水	木	金	特別
8:10						特別
8:10~8:15						特別
8:15~8:20						特別
1校時 8:20~9:00	1~6年	1~6年	1~6年	1~6年	1~6年	1校時
2校時 9:05~9:45	1~6年	1~6年	1~6年	1~6年	1~6年	2校時
3校時 9:50~10:30	1~6年	1~6年	1~6年	1~6年	1~6年	3校時
10:30~10:50	中休み					中休み
4校時 10:50~11:30	1~6年	1~6年	1~6年	1~6年	1~6年	4校時
5校時 11:35~12:15	1~6年	1~6年	1~6年	1~6年	1~6年	ムーンタイム 給食 11:50~12:35
12:15~13:00	給食					給食
13:00~13:20	13:10	13:10	13:10	13:10	13:10	13:10
13:20~13:55	13:20	13:20	13:20	13:20	13:20	13:20
6校時 13:55~14:35	3~6年	3~6年	3~6年	2~6年	4~6年	6校時
14:35~14:45						特別

多様な子どもの学びに対応できる柔軟な教育課程

- 毎日同時程 落ち着いてスタート
- ムーンタイム 学級の時間
- こども園との交流

生み出した時間を活用した働き方改革

- ・個別最適な職員研修の実施
- ・教師のための時間の設定 (教材研究、子どもと向き合う)

コミュニティスクールスタート
 地域と連携した教育課程の開発

各学年の時数内訳

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
標準授業時数	865	925	980	1015	1015	1015
学校裁量	91 1/2	74 1/2	99 1/2	97 1/2	92 1/2	80 1/2
行事時数	44 1/2	38	40	38	47	57
総時数	1001	1037 1/2	1119 1/2	1150 1/2	1154 1/2	1152 1/2

各学年の週当たりコマ数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
コマ数	25	26	28	29	29	29

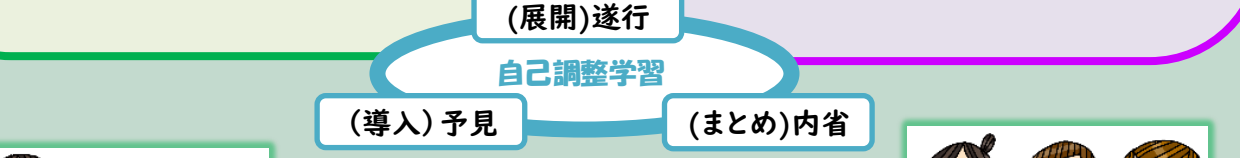
自立した学習者の育成 ～「個別最適な学び」の充実を目指した指導の在り方～

授業改善
 個の資質・能力を育てる

- ◇質の高い授業の実践
 - ・問題解決的な学習過程 ねらいに到達させる授業
 - ・学習用情報端末を活用した子どもと教師が情報を共有し合いながら進める授業
- ◇複線型の学習過程を取り入れた授業の実践
 - ・子どもの個人間差異に着目した複線型の授業展開

マイ光プランの充実
 子どもの学校生活を豊かなものにする

- ◇児童が「やりたいこと」に取り組む時間
 - 1・2年 教科に基づく「やりたいこと」
 - 3~6年 自分の興味関心に基づく「やりたいこと」
- ・学校の時間と場所を子どもに与え、子どもたちの学校生活を豊かなものにする。
- ・活動の中で、自己調整する力を身に付けさせる



幼児教育との連携

- ・スタート・カリキュラムの実践・改善
- ・架け橋プログラムの実践・改善
- ・げっこうはらこども園職員との協働作業
- ・園と学校を往還し、身に付けさせたい「10の姿」を生かした授業づくり

○子どもの具体的な姿で評価する
 <次の観点から子どもの主体性を評価する>

- ・表情
- ・発言
- ・行動

○子どもの思いから評価する
 <四者による学校評価アンケートの次の項目の経年変化から評価する>

- ・学校は楽しい
- ・授業は分かる
- ・落ち着いた学校生活を送っている など

○資質能力を客観的に評価する
 <学習状況調査(区および国)の経年変化、i-checkの経年変化から評価する>

- ・夢や目標があるか
- ・自分にはいいところがあるか など

[改善検討会議]

- 企画会
- 職員会議
- 研究推進委員会
- 研究部会 (架け橋・マイ光・授業研究)
- 学校運営協議会